

●国際ロータリーテーマ



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●本日の例会

●R1第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

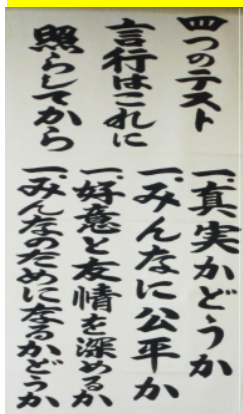
点 鐘 12:30~
四つのテスト
ロータリーソング斉唱
会長の時間
幹事報告等

●第2735回 平成27年12月18日(金)

卓話 鯖江市OC課代表 吉村 明美 様
テーマ 「OC課という選択」

▼第2734回例会報告 平成27年12月11日(金) ▼鯖江商工会館 3階中ホール 出席率 74%

四つのテスト



それでこそロータリー

佐野 直美 ソングリーダー



ている。少しでも、その分をお返しできるような気持ちで、頑張っていきたい。皆様のご協力をよろしくお願いしたい」と、力強く決意を述べました。

幹事報告



先週の12月理事会報告。

- ・12月忘年例会について。12月25日(金) 18時30分から、サバエ・シティーホテル 1階にて開催。登録料 7,000円。アトラクションは、ジャズ演奏等。
- ・1月は、事務所開きを1月9日(土)午 前11時から行う。同日、12時30分から、新年家族例会を天狗楼にて開催。登録料は、会員6,000円、家族 5,000円。よろしくお願ひしたい。
- ・牧野委員長の国際奉仕委員会が、事業を企画。県内在住の留学生の方との国際交流事業を、2月の第4例会で開催する日程が、承認されました。
- ・後ろのボードでも案内しているが、2月26日(金)の例会は、昼でなく、18時30分から、この場所で開催したい。
- ・後ろにチラシがある、地区大会の案内が来た。1月末までの登録となっている。ご参加をよろしくお願ひしたい。
- ・1月31日に、職業奉仕の講演会が京都で開催される。興味のある方は、申し込みをお願ひしたい。
- ・12月18日に、鯖江RACのクリスマス忘年例会が、開催される。案内申し上げる。
- ・最後に、小林文雄会員から退会届が提出され、理事会にて、退会が受理された事を報告申し上げる。

お客様の紹介と会長の時間(年次総会)



本日のお客様。鯖江警察署、署長、丹生章二様(写真右)。署長には、後ほど卓話をお願いする。ようこそいらっしゃいました。



ここで、皆様に承認をお願いする2015年12月年次総会を開催する。

当クラブ細則規定に則り、

小部 隆充 会長 前週12月4日、第1例会にて指名された、次々年度会長及び次年度理事について、総会当日の参加会員全員により、採決を行う。なお、採決方法は、候補者が定数を超えていないため、口頭により採決。

鯖江RC次年度(2016-17年)役員候補者、12月4日例会で指名・当クラブ細則第3条1節による、次々年度会長候補者：大島恒彦会員。賛成の方、拍手願ひたい。(一同賛成)大島会員、よろしくお願ひする。

続いて、次年度理事候補者6名：幸道森市・酒井雅憲・深見泰和・佐野直美・岡本圭子・孝久治宏会員。同会計：瀧ヶ花秀晃会員。同副幹事：川手博明会員。

以上の8名について、賛成の方、拍手願ひたい。(一同賛成)以上、承認。

大島恒彦会員(写真左)は、「今ほど承認賜り、次々年度の会長を仰せつかりました。長い間、本クラブで世話になっ



ニコニコBOX報告

(敬称略・順不同)



- | | |
|---------|---------|
| 1 小部 隆充 | 3 牧野 友美 |
| 1 大橋 良史 | 4 木村 明 |
| 1 齋藤多久馬 | 5 孝久 治宏 |
| 1 窪田 健一 | 5 野中 敏昭 |
| 2 田中 敏幸 | 6 小林 文雄 |

感謝し報告する
田中敏幸副委員長

- 1:卓話に期待して
- 2:お久しぶりです。よく降ります
- 3:4日に女の子の初孫が生まれました。お陰様です
- 4:良い事がありました。早退します
- 5:早退します
- 6:長い間お世話になりました



卓話 鯖江警察署 署長 丹生 章二 様

テーマ 管内の治安上の課題と対策等



最初に、鯖江警察署の概要。平成17年12月に現在地に新築移転。同20年に再編で、丹生警察署と統合。組織体制は、署員104名、警察官96名、一般職員8名。うち女性は5名。7課、3交番、11駐在所、1分庁舎。

7課は、警務課：警察官の募集、福利厚生、留置所の管理等。会計：給与、遺失・拾得物の届け出と管理。地域：3交番、11駐在所を管理。交通：交通事故捜査、道路使用許可・車庫証明等の許認可。生活安全：少年の犯罪、ごみ問題、風俗営業等の許認可。刑事：犯罪の取り締まり。警備：土砂災害、沿岸警備、要人警護等。

3交番は、駅前と神明、朝日（丹生分庁舎内）。そして、交番と11駐在所の違いは、簡単に言うと、交番は24時間警察官が勤務。駐在所は、原則、日勤勤務。

■高齢者対策

そこで、本題の管内の治安上の課題と対策等について。一番大きな課題は、高齢者対策。現状は、高齢化が急速に進んでいる。当署管内の高齢者人口の割合は、鯖江市が25%、越前町が30%。5年前に比べ、3ポイントずつ、計2,623人増加。急速な高齢化に伴って、警察の対応が求められ、特に鯖江署は、次の3点が重要。対策をとっている。

(1) 交通事故抑止

死者数・人身事故件数とも減少。但し、人身事故における高齢者の事故構成率が、非常に高い。高齢者が第一当事者となる事故件数は、県下で21.7%。当署管内は30.1%。非常に高く、統計上出ている。

その対策は、①街頭での危険高齢者に対する保護、誘導活動。街頭やパトカー等で警ら中に、斜め横断等する高齢者を発見した時、保護して指導。反射材タスキの貸与。②交通安全教室未実施地域への、交通安全押しかけ作戦。交通事故に会う高齢者の方は、安全教育や講習を受けていない方がほとんど。③ドライブレコーダーを活用した、体験型交通安全教育の推進。高齢者の方の自家用車に1週間ほど、レコーダーをつけ、記録された映像を分析した上で、気を付けてもらいたい点を指導する活動。現在20人の方が申込み、13人の方が実施。

(2) 特殊詐欺被害の抑止

先日、オレオレ詐欺で被害が出た。ばあちゃんは、孫がかわいくて信用。詐欺にあった事案が、最近発生。また、阻止件数は1件。被害にあうところを阻止。犯罪に使われた口座は、21口座、凍結している。

現在、被害は1件だが、被害届の提出に至っていないものへの対応も必要。その対策は、金融機関窓口における対応訓練。高齢者に対する被害防止講座の開催。口座凍結、積極的な犯行ツール対策の推進。

(3) 徘徊被害抑止

現在、認知症の徘徊者保護人数は、23人。昨年同期比、14人増加。保護全体に占める徘徊者の割合も昨年の21%から、今年は56%と急増。対策は、被害にあう徘徊高齢者の積極的な把握。市町SOSネットワークとの連携強化。

■人身安全関連事案

大きな課題の2つ目は、人身安全関連事案。聞き慣れな



い言葉かもしれないが、分かりやすく言うと夫婦・恋人間トラブルへの対応。今までに35件受理。前年比3件増。逮捕しているのが6人。対前年比4人増。

対策は、危険性や切迫性等が高い危ない事案への対応の徹底。危ない事案で、特に夫婦間は注意が必要。日常的に暴力を受け、それが破裂して殺人に及ぶ。これは、積極的に加害者を分離する、逮捕する対応を取る。加えて、ホテル等に一時非難させ、被害者を保護する。

■暴力団対策

3つ目は、暴力団対策。ご存知のように、山口組が分裂し、神戸山口組ができた。その組織同士の抗争が危惧されている。鯖江市内に、組事務所はないが、組員は、複数名いる。その組員に対する情報収集、検問、職務質問等を強化。対立抗争の兆しを早期に把握して、芽をつぶしていく。

■犯罪・交通事故発生状況

次に犯罪発生状況。11月現在、354件発生。対前年比93件減。この中で多い犯罪は、①器物損壊。車が傷つけられる。②万引き。高齢者が多い。③車上狙い。保育所等に子供を出迎える、ちよつとの隙。さらに、カバン等が外から見える、もの見え状態も危ない。

④自転車泥棒。100%近くが、無施錠で被害にあう。2重ロックが理想。⑤住居侵入。手口は、ブロック等で、玄関や雨戸を打ち破ったり、ドライバー等でガラスを挟り、割って、鍵を開けて侵入する。こういう犯罪が多く発生。

そして、交通死亡事故の発生状況。県下で、昨日現在、42人が犠牲。対前年比、5人減。特徴は、高齢者の方の犠牲者が多い。さらに、亡くなった方は、シートベルトの着用率が低い。飲酒運転による死亡事故は、2件発生。

管内では、昨日現在、2人が犠牲。対前年比4人減。市内で88歳、越前町で50歳の方が、それぞれ自転車に乗っていた際、事故に遭い亡くなった。

■賢い名田庄のサル以上に、交通ルールを守って

私は、色々な交通死亡事故を見て、関係者の話を聞いてきた。事故は、起こした人も・遭った人も・その家族も悲惨な目に遭う。しかし、それを防ぐ特効薬はない。ただ、「交通ルールを守ってほしい」と、お願いするしかない。

ところで、「名田庄村のサルが賢い」という話がある。1つ目は、山から下りてくる時、レジ袋を持ってくる。畑の作物を袋に入れて、山に持って帰る。2つ目は、道を横断するとき、手を挙げて、右左を確認して渡る。

サルさえも、交通ルール・マナーをも守っている。皆さん、家庭や職場等で、機会あるごとに「交通ルールを守るよう」繰り返し、繰り返し、訴えてほしい。それが、大切な家族、従業員を守る一番効果的な方法。お願いしたい。

